



青少年赤十字新聞 第11号 やまぐち版 平成29年4月1日発行

～青少年赤十字をもっと！活用してもらうために～
山口県青少年赤十字指導者研修会を開催しました！

2月21日、県内の加盟園・校の先生方を対象に、山口市において「平成28年度山口県青少年赤十字指導者研修会」を開催しました。今回は、県外の指導者による講演や、具体的な赤十字プログラムの活用事例等について、県内の指導者の先生方による講話・指導をしていただきました。

講演「いじめ防止と青少年赤十字について ～高崎市の取組を通して～」
講師：群馬県高崎市教育委員会 飯野 眞幸 教育長



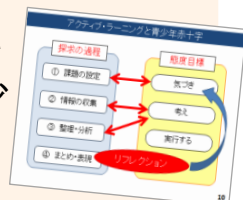
飯野教育長は、長年、指導者として群馬県教育委員会並びに学校現場で青少年赤十字活動の指導に関わっておられ、専門である学校の危機管理に関する講演活動などで全国的に注目されています。この日は、高崎市で取り組まれている「いじめ防止プログラム」の紹介や青少年赤十字の指導を通じた学校での取組みについてご講演いただきました。



「新学習指導要領に基づく青少年赤十字の有効的な活用について」
山口県教育庁義務教育課 美作 健悟 主査



文部科学省が示す「新学習指導要領」と青少年赤十字の活用について今後求められるアクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)と青少年赤十字の態度目標である「気づき・考え・実行する」活動との関連と有効性について、ご講話いただきました。

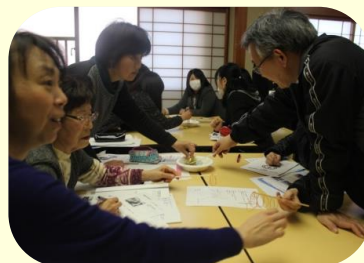


「青少年赤十字防災教育プログラムの活用事例」
下関市立関西小学校 厚東 政人 校長

赤十字が学校向けに作成した防災教育プログラムの具体的な活用について知っていただき、積極的に活用してもらうため、教材「まもるいのちひろめるぼうさい」の説明と、災害時に必要なコミュニケーションを学ぶためのワークショップ体験について、教材の作成に携わった厚東校長から指導いただきました。



県内全校、加盟園に
配布しています！



「竹ひごタワー」、「救援物資を運べ！」ワークショップ体験の様子。
コミュニケーションの大切さを学びながら、楽しんで実施いただきました！

～東日本大震災から6年…～
各校で防災学習が実践されています！



3月11日、東日本大震災発災から6年を迎えました。
この大震災を教訓として、赤十字は「災害からいのちを守る日本赤十字社」として、日頃から「防災・減災」を積極的に進めるためのプログラムの作成に取り組んでいます。
将来起こる自然災害に対して、子どもたちが災害についての正しい知識を持ち、自ら「気づき、考え、実行する」ことで、危険から身を守ることができるようになることを目指すために推進している防災教育プログラムをはじめ、各校で実施された防災の取り組みを紹介します。

岩国市立周北小学校
避難訓練・地震についての学習

3月10日、昨年に引き続き学校での地震被害による避難訓練と合わせて、地震の被害や災害時に必要な備えについて考えるグループワークを実施しました。配布された道具の中から避難に必要なものを各グループで相談しながら選択し、かばんに入れたものについてそれぞれ発表を行いました。



「災害時シミュレーション」(『まもるいのち ひろめるぼうさい』から)

地震発生！
身を守るための
行動を復習！



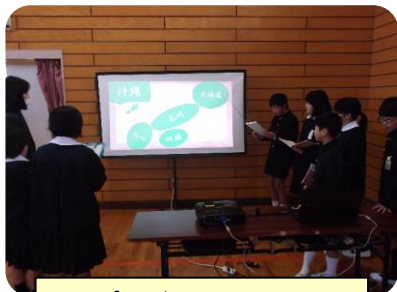
避難に備えたポスター
を作成！
最後に紹介してくれま
した。

光市立室積小学校
防災教育参観日

2月21日、6年生の総合的な学習の一環で、防災教育参観が行われました。室積小学校では、この日までに「我が家の防災パワーアップ計画」として、4月から家庭や地域での防災の取り組みについて調査・学習を行ってきました。室積地区は海が近いことから、地震・津波の備えを中心として、これまで調べ、考えた成果を、グループでテーマごとにまとめ、地域や保護者の方、5年生に対してポスターやスライドなどを作成し発表しました。



防災グッズの紹介



プレゼンテーション



防災クイズ

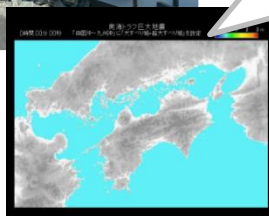
宇部市立黒石中学校 地震・津波防災ワークショップ

3月22日、1年生を対象に、地震津波防災について考えるワークショップ「大地震発生！その時どうする？」を実施しました。これまで、大雨災害についてのワークショップを県内の学校等を中心に進めてきましたが、今回は新たに地震・津波災害についてのワークショップを行いました。

地震・津波防災ワークショップ
「大地震発生！
そのとき、どうする？」



津波から命を守るためには、
・強い揺れ、長くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら
・揺れがなくても、津波警報が発令されたら
▶▶▶▶▶ **すぐに避難！**



スライド資料による教材。

地震被害の画像や南海トラフ津波シミュレーション動画が収録されています。

山口県立華陵高等学校で 校内リーダーシップ・トレーニング・センターを実施！

3月18日、昨年度に引き続き華陵高等学校で、JRC委員を中心として企画された校内リーダーシップ・トレーニング・センターが行われました。今回は防災意識の向上をテーマに、災害時に「気づき・考え・実行する」ことができるよう下記の内容で実践されました。



防災コミュニケーションワークショップ
「竹ひごタワー」、「みんなで分けよう」



非常食炊出し体験



ロープワーク



学校教育を支援する赤十字のプログラムをぜひご活用ください！

日本赤十字社山口県支部では、国内外における赤十字の活動についての講話、防災・減災や救急法等の講習指導者を無料で派遣しています。

お問い合わせは、日赤山口県支部まで！



平成29年度の主要行事について



リーダーシップ・トレーニング・センター

今年度も各校へご案内を送付しておりますが、青少年赤十字活動における「児童・生徒のリーダー」の養成を目的として下記の日程でリーダーシップ・トレーニング・センターを実施します。

日常とは違う環境のなかで、態度目標の「**気づき 考え 実行する**」をもとに、さまざまなプログラムを行い、他校のメンバーと交流しながら、リーダーシップについて学びます。

開催期間

○小学校 8月1日(火)～8月3日(木) 2泊3日

○中学校 8月7日(月)～8月9日(水) 2泊3日

○高等学校 8月9日(水)～8月12日(土) 3泊4日



場 所

<小学校>

国立山口徳地青少年自然の家(山口市徳地船路668)

<中学校・高等学校>

山口県十種ヶ峰青少年自然の家(山口市阿東嘉年下1883-2)



山口県・韓国蔚山 青少年赤十字国際交流事業



山口県の青少年赤十字メンバーと韓国蔚山(ウルサン)広域市の青少年赤十字メンバーが、青少年赤十字の実践目標のひとつである「国際理解・親善」の実践を目的として、お互いの国で交流プログラムを体験し、歴史や文化などを学びながら友情を育む取組みを昨年度に引き続き実施します。4カ年計画の2年目である今年度は、下記の日程で小学校のメンバー同士の交流を予定しています。



山口県への受入事業

8月 1日(火)～ 8月5日(土)

蔚山広域市への派遣事業

8月 9日(水)～ 8月13日(日)

各園・校の取り組みについて、情報をお待ちしています！どしどしお寄せください！

【連絡先】日本赤十字社山口県支部 〒753-0094 山口市野田172-5

TEL 083-922-0102 FAX 083-932-3615 E-Mail jrc@c-able.ne.jp